

# 東日本震災被災地視察及び石巻市老連との交流研修会

東日本大震災から3年目が過ぎ、平成24年2月27日～29日宮城県石巻市老連被災会員19名を兵庫県に招待したのをきっかけに、石巻市老連より石巻市の復興状況や阪神・淡路大震災で被災を経験した同じ仲間との交流を深めたいとの申し出があり、県内や当時交流が図られた芦屋市老連と淡路ブロック老連協の会員に参加者を募り、平成27年7月1日（水）～3日（金）にかけて宮城県石巻市において交流を図りました。

【第1日目】7月1日（水）石巻市老連との交流 会場 石巻グラウンドホテル  
石巻市老連 30名 兵庫県老連 18名

石巻市内を一望できる日和山公園に建立された震災記念碑「友愛」見学



のじぎくクラブ兵庫の中村会長から石巻市武山会長へ記念品「マグダッソ」10セット、義援金の目録を手渡し、石巻市老連より手作り品のお土産参加者にをいただいた。



交流会では、皆で歌あり、踊りありで大歓迎される。

【第2日目】7月2日（木）被災地の復興状況見学



石巻魚市場は大震災により壊滅的な被害を受けたが、新しい魚市場は従来の1.4倍の規模となり国内最大級の魚市場として生まれ変わる。

全校生 108名のうち児童 74名・教職員 10名が大震災で犠牲になった石巻市立大川小学校



大震災の影響により長らく休館していたが多くの支援により再開したサン・ファン館



【第3日目】7月3日（金）観光



松島島めぐり  
瑞巖寺



石巻市老連は、震災により、クラブ教員数が大きく減少しました。全国から寄せられた救援拠金を活用し、現在では老人クラブ活動は盛り返しつつあります。これから仮設住宅から復興公営住宅 4,500戸（現在 2,190戸）着工予定で、行政や関係機関と連携協力しながら役割を果たします。

仙台空港で、3日間お世話になりました石巻市社協大槻会長と佐沼職員に中村会長より心温まるおもてなしに感謝のことは述べました

